

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	外国語		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	講義室
担 当 教 員	ILC、小山 弥生	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
授業でのコミュニケーションな会話の練習を通して、英語話者である患者、顧客、同僚に対応する際に必要なアウトプット、インプット両方の能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
Sweet 「Medical English Communication, 3rd Ed.」 医療英語コミュニケーション						
《授業外における学習方法》						
それぞれのチャプターには英語のダイアログがあり、教科書の後ろのページには日本語訳と用語集も載っているので、授業前に読んでくるようにして下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
現在、企業の種類にかかわらず英語力のある人が求められていると思います。鍼灸師を目指す場合、患者様は日本人のみとは限らないのではないのでしょうか。鍼灸に役立つ英語と実用的に使える英語を勉強しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	初診、再診の方などの基本的な患者対応ができるようになる	医療英語コミュニ ケーション	教科書P.6-8を事前に 読んでおくこと	
		各コマに おける 授業予定	チャプター1.1(pp.6-8) 受付①・MECプレテスト			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	初診、再診の方などの基本的な患者対応ができるようになる	医療英語コミュニ ケーション	教科書P.8-10を事前に 読んでおくこと	
		各コマに おける 授業予定	チャプター1.2(pp8-10) 受付②;医療分野の種類			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	病院内を案内できるようになる	医療英語コミュニ ケーション	教科書P.12-17を事前 に読んでおくこと	
		各コマに おける 授業予定	チャプター2(pp12-17) 病院案内:各科への行き方、案内の仕方("where", "what",前置詞) 症状と診療科の種類			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	体の部位を学び、痛み(症状)を説明できるようになる。	医療英語コミュニ ケーション	教科書P.18-22を事前 に読んでおくこと	
		各コマに おける 授業予定	チャプター3(pp.18-22) 体の部位、痛みの表現 現在完了形を使用した期間の表現			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	患者の訴えや症状を正確に聴取し、情報収集できるコミュニ ケーションを学ぶ	医療英語コミュニ ケーション	教科書P.24-26を事前 に読んでおくこと	
		各コマに おける 授業予定	チャプター4.1 (pp.24-26) 基本的な症状の表現("I have (a)..." ", "I feel", "I am", "...feels...", "...hurts")			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	患者の訴えや症状を正確に把握するためのコミュニケーションを学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.26-28を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター4.2 (pp.26-28) 症状の問診		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	チャプター1-4の復習	医療英語コミュニケーション	チャプター1-4の復習を行う
		各コマにおける授業予定	チャプター1-4の復習		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	問診時に使用する重要英語表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.30-32を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター5.1 (pp.30-32) 問診(1)-① 患者に症状、家族歴、既往歴を尋ねる(現在完了形)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	問診時に使用する重要英語表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.32-34を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター5.2 (pp.32-34) 問診(1)-② (前回の続き) 病状の継続期間を表す表現		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アレルギーの有無や生活習慣、嗜好品についてたずねる問診表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.36-39を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター6.1 (pp.36-39) 問診(2)-① 生活習慣についての質問、頻度の表現を使つての薬の処方		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	問診しながら患者に身体測定の方法を説明できるようにする	医療英語コミュニケーション	教科書P.42-45を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター7(pp.42-45) 身体測定・診察時の表現、患者への丁寧な説明方法		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	鍼灸関連の英語表現を使った患者への応対、施術の説明方法を学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.84-87を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター15(pp.84-87) 鍼灸院での治療		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	鍼灸関連の英語表現を使った患者への応対、施術の説明方法を学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.84-87を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター 15 pp. 84-87、鍼灸に特化した会話、Chapter 18 pp. 100-103.		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容を説明できる	医療英語コミュニケーション	これまでの復習を行う
		各コマにおける授業予定	試験に向けての復習:チャプター1-7,15、MECポストテスト		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容を想起できる	医療英語コミュニケーション	これまでの復習を行う
		各コマにおける授業予定	確認演習		